

低迷からの脱出

労働組合だからできること

「安い日本」が頻繁に取り上げられ、大きな議論になっている。
特に日本の賃金がOECD諸国の中で低位にあるという現状は、
日本の労働組合に大きな課題をつきつけている。
日本の賃金が諸外国に比べて上昇して来なかった要因はどこにあるのか、
いくつかの視点から専門家のご寄稿をいただき、
労働組合としてこれからの運動の方向性を探る。



正誤表

本誌(印刷物)に下記の通り誤りがございました。お詫びして訂正いたします。
なお、ホームページ掲載PDFは修正済みです。
7頁3段9行目 (誤) 45兆円→(正) 450兆円
21頁4段6行目 (誤) 「管制春闘」→(正) 「官製春闘」